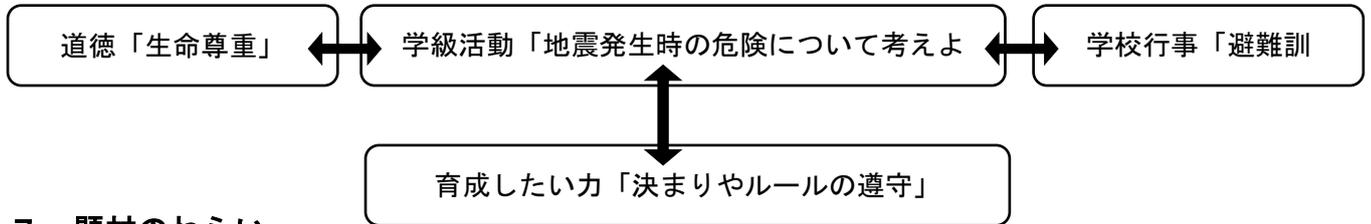


熊本県立芦北支援学校 高等部佐敷分教室「防災教育」学習指導案

- 1 題材名 「地震発生時の危険について考えよう」
- 2 日時 令和元年（2019年）10月25日（金）13：50～14：40
- 3 場所 高等部佐敷分教室ホール・ランチルーム
- 4 生徒 1年生7名、2年生9名、3年生9名 計25名
- 5 授業者 (T1)～(T9)
- 6 カリキュラムマネジメントの視点



7 題材のねらい

校内における地震発生時の危険箇所についての改善策を考えることができる。

8 展開

時刻	学習活動	指導上の留意点	備考
13：50	1 始業の挨拶をする。		
13：51	2 授業の流れを確認し、熊本地震の写真を見る。	・各生徒の心身の状態に十分配慮する。	・テレビ ・PC
13：55	3 班に分かれて、校内で活動中に地震が発生した際に危険と考えられる箇所を探す。 ・A班 教室 ・B班 廊下 ・C班 作業室 ・D班 ホール	・発表係、写真係、記入係を班で決める。 ・各班1台ずつデジタルカメラを準備し、指定された場所へ移動し、危険箇所を探せるようにする。	・デジタルカメラ（4台） ・矢印棒（4本） ・タイマー
14：10	4 危険箇所を改善する方法について話し合う。	・撮った写真の中から早急に改善が必要と思われる上位2つを決め、それぞれについての改善策を考えられるようにする。	・鉛筆 ・記録用紙
14：25	5 班ごとに発表する。	・全員で危険箇所を共有できるように、各班の写真をテレビに映す。	・テレビ
14：35	6 本時の振り返りを行い、11月の避難訓練について知る。	・学校だけではなく、普段生活する場所（家や店、道路等）に危険箇所があることを伝える。 ・11月の熊本シェイクアウト訓練、芦北高校合同地震津波避難訓練について知らせる。	
14：40	7 終業の挨拶をする。	・各生徒の心身状態の確認を行う。	